学校教育目標　社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓　「　和　の　心　」

指導重点
① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
② 確かな学力の育成
③ 健やかな身体の育成　④ 豊かな心の育成
⑤ 特別支援教育の推進
⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」を推進

今年度の校内研究

１０月２３日（金）公開研究会！

私たち教職員は、教育の質の向上に向けて「校内研究」等で授業改善に取り組んでいます。教職員の研修（研究と修養）への努力は法律にも明記されています。

今年度は「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する児童生徒の育成」を主題に、QU やNINO、学力学習状況調査等のエビデンスを活用した安定した学級づくりと、ICT を活かした自己調整学について、小中連携で研究を推進しています。また「やまなし教育創造推進事業」の支援を受け、少人数ならではの教育に試行錯誤を重ねています。

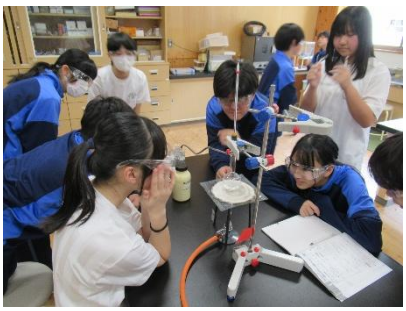
10 月 7 日（水）には 1 年生の理科で髙次先生による研究授業が行われました。山梨県総合教育センターの指導主事や応用科学研究所から講師をお迎えし、1 年生が主体的に学ぶ姿を通して、全教職員が深く学ぶ機会となりました。



10 月 23 日（金）に開催する「公開研究会」では、県内各地から教職員の皆様をお迎えし、1 年『英語』（上間先生）、2 年『国語』（武藤先生）、3 年『音楽』（渡邊先生）の授業提案を行います。

昨日の考えは正しいのか？

1年生　実験で検証





10 月 8 日（木）前日の 1 年生理科の授業で、生徒が考えた「沸点の違いを利用すれば混合物を分離できるのではないか」という仮説が正しいかどうかを、確かめるための実験が行われました。生徒たちは、加熱中の温度変化や出てくる液体に目を凝らしながら、手や頭をフル回転させて検証に取り組んでいました。「自分たちのアイデアを実験で確かめる」という明確な目的意識をもつことで、一人ひとりが問いに深く向き合い、仲間と協力して主体的に課題を解決しようとする姿が印象的でした。エタノールと水の分離実験により、先に取り出した液体のにおいや、燃える様子を実際に目で見て確認し、前日の仮説が見事に実証されたことを意欲的に確かめることができました。

全校で英検にチャレンジ

１０月２日（金）全校生徒が、英検にチャレンジしました。全校で英検にチャレンジできたのも、検定料補助（道志村子育て支援パッケージ）のおかげです。子供たちの豊かな学びの環境が整えられていることに感謝し、学校教育を推進してまいります。

ホームページに様々な情報をアップしております。ぜひご覧になってください。